

# 2012年3月期 第1四半期 決算報告

2011年8月5日  
経営企画室

# 1. 第1四半期決算のポイント

[単位:百万円未満切捨]

## 1.1. 決算のトピックス

[連結](#)

### ▶ 連結経営成績に関する主な事項

- ⊕ 売上高 … 38億92百万円 (前年同期比 0.8%増)
- ⊕ 営業利益 … 1億64百万円 (前年同期比 419.6%増)

ソフトウェア 開発事業	金融・保険分野	銀行および保険業の案件が増加 前年同期を2億74百万円上回り、16億4百万円(前年同期比20.7%増)
	公共・サービス分野	前年同期を6百万円上回り、9億88百万円(前年同期比0.6%増)
	流通・その他の分野	前年同期を90百万円下回り、6億34百万円(前年同期比12.4%減)
組込型 ソフトウェア 開発事業	通信システム分野	通信端末の開発案件が減少 前年同期を72百万円下回り、2億円(前年同期比26.6%減)
	カーエレクトロニクス分野	車載関連の案件が減少 前年同期を1億55百万円下回り、3億31百万円(前年同期比32.0%減)
	情報家電等・その他の分野	前年同期を55百万円上回り、1億10百万円(前年同期比98.7%増)
商品・製品販売		前年同期を上回り、22百万円(前年同期比124.8%増)

### ▶ 連結財政状態に関する主な事項

- ⊕ 総資産 … 116億16百万円 (前期末比81百万円減)
- ⊕ 自己資本比率 … 65.5% (前年度末 65.4%)

# 1. 期末決算のポイント

## 1.2. 第1四半期の振り返り

単体

### 全般傾向

大型案件は依然少ないが、企業のIT投資の動きが活発化  
特に金融分野（銀行、証券等）の受注状況の改善が顕著  
開発事業における要員の稼働率が大きく向上し、増益に寄与

### 課題

新規顧客開拓

品質およびプロジェクト管理の強化

サービスビジネスの拡大

# 1. 期末決算のポイント

## 1.3. 第1四半期の振り返り

### 子会社

	クレスコ・ イーソリューション	SAP関連のコンサルティングおよび開発案件が好調 経験者の採用が重要課題
	ワイヤレス テクノロジー	受注時期のずれ込み等が発生。 量産案件の受注、自社製品の差別化が課題
	クレスコ・ コミュニケーションズ	沖縄関連事業、ネット監視事業の案件確保が課題 SIおよびコンサルティング案件の受注に注力
	クレスコ・ アイディー	2011年4月に新規設立 RFID関連製品を主力とし、近距離無線通信に特化
	アイオス	大手ベンダー向け営業が堅調に推移 グループ連携による営業活動の効率に注力
	インフィニード	地場顧客の開拓が継続課題 グループ連携による案件の獲得に注力

## 2. 財務経営成績 等

### 2.1. 損益計算書 [要約]

連結

[単位:百万円未満切捨]

	2011年3月期 第1四半期 ＜実績＞	2012年3月期 第1四半期 ＜実績＞	前年 同期比	2012年3月期 中間期 ＜2011/5/9公表＞
売上高	3,862	3,892	100.8%	8,060
売上総利益	483 (12.5%)	602 (15.5%)	124.6%	1,300 (16.1%)
営業利益	31 (0.8%)	164 (4.2%)	519.6%	320 (4.0%)
経常利益	93 (2.4%)	199 (5.1%)	213.7%	400 (5.0%)
当期純利益	90 (2.3%)	93 (2.4%)	103.7%	190 (2.4%)
EPS 円/株	7.51	8.44	—	17.14

【注】（）内の数字は各々の利益率を表します。

## 2.2. セグメント売上高の比較 連結

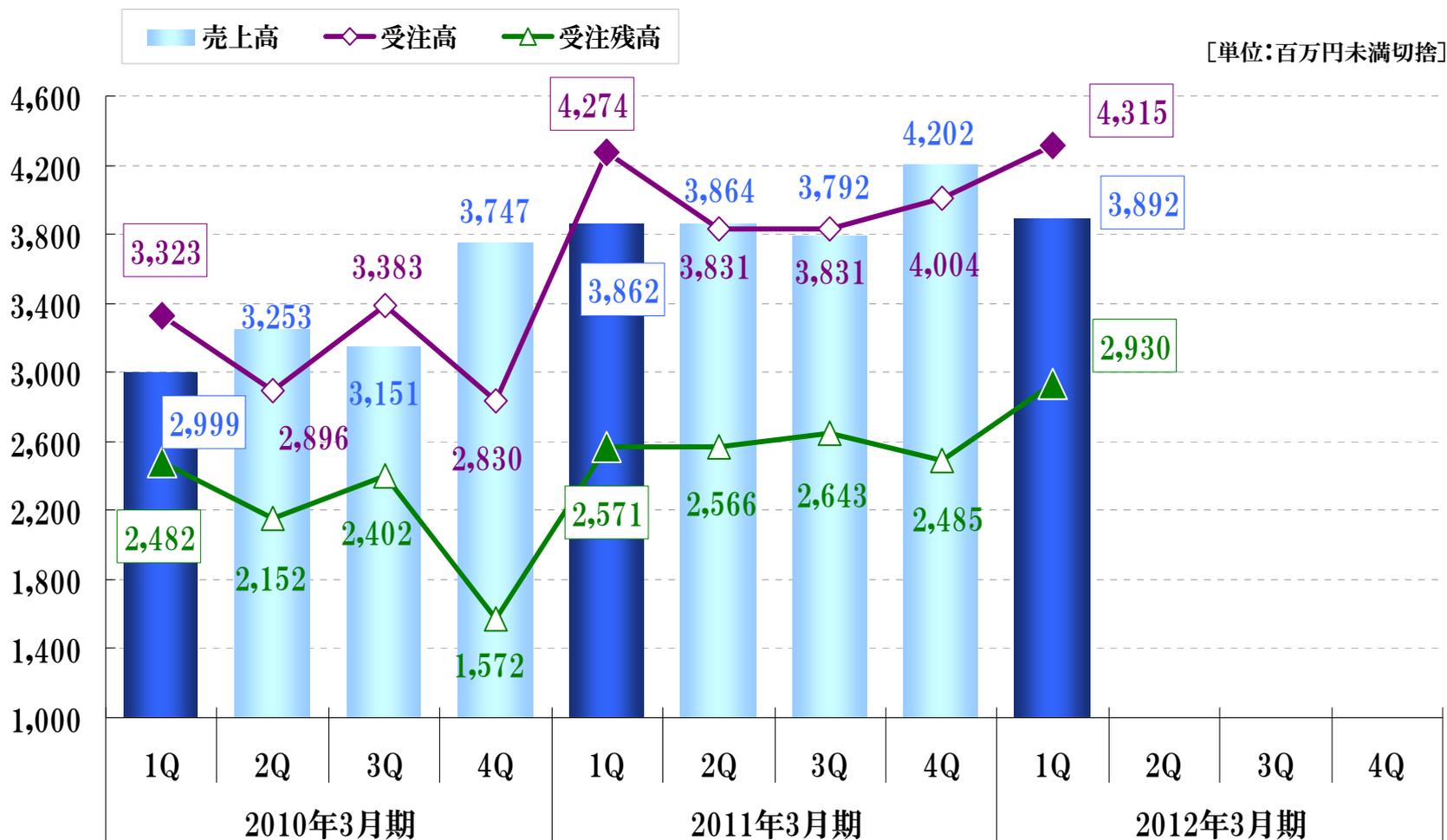
[単位：百万円未満切捨]

大区分	セグメント	2011年3月期 第1四半期	2012年3月期 第1四半期	増減	増減率
	小区分				
ソフトウェア	金融関連	1,329	1,604	274	20.7%
	公共・サービス	982	988	6	0.6%
	流通・その他	724	634	▲90	▲12.4%
	計	3,036	3,227	191	6.3%
組込型 ソフトウェア	通信システム	272	200	▲72	▲26.6%
	カーエレクトロニクス	487	331	▲155	▲32.0%
	その他	55	110	55	98.7%
	計	815	642	▲173	▲21.2%
商品・製品販売		10	22	12	124.8%
<b>全計</b>		<b>3,862</b>	<b>3,892</b>	<b>30</b>	<b>0.8%</b>

# 2. 財務経営成績 等

## 2.3. 売上高・受注高・受注残高の推移

連結



## 2.4. 損益計算書 [要約]

単体

[単位:百万円未満切捨]

	2011年3月期 第1四半期 ＜実績＞	2012年3月期 第1四半期 ＜実績＞	前年 同期比	2012年3月期 中間期 ＜2011/5/9公表＞
売上高	2,798	2,773	99.1%	5,700
売上総利益	329 (11.8%)	416 (15.0%)	126.3%	800 (14.0%)
営業利益	59 (2.1%)	156 (5.6%)	263.6%	220 (3.9%)
経常利益	101 (3.6%)	238 (8.6%)	235.1%	340 (6.0%)
当期純利益	79 (2.8%)	148 (5.3%)	187.1%	180 (3.2%)

【注】（）内の数字は各々の利益率を表します。

## 2. 財務経営成績 等

### 2.5. 損益計算書 [要約]①

子会社

[単位:百万円未満切捨]

	 クレスコ・イー・ソリューション [資本金: 200]		 ワイヤレステクノロジー [資本金: 50]		 クレスコ・コミュニケーションズ [資本金: 50]	
	2011年3月期 第1四半期	2012年3月期 第1四半期	2011年3月期 第1四半期	2012年3月期 第1四半期	2011年3月期 第1四半期	2012年3月期 第1四半期
売上高	351	320	6	31	35	34
売上総利益	42	70	▲3	4	11	7
営業利益	2	27	▲8	▲2	▲1	▲5
経常利益	4	27	▲8	▲2	▲1	▲4
当期純利益	1	15	▲7	▲1	▲1	▲3
持分比率	100.0%	100.0%	87.5%	87.5%	86.0%	86.0%

## 2.5. 損益計算書 [要約]②

子会社

[単位:百万円未満切捨]

	 クレスコ・アイディー [資本金: 100]		 アイオス [資本金: 313]		 インフィニード [資本金: 17]	
	2011年3月期 第1四半期	2012年3月期 第1四半期	2011年3月期 第1四半期	2012年3月期 第1四半期	2011年3月期 第1四半期	2012年3月期 第1四半期
売上高	-	1	652	697	31	38
売上総利益	-	▲1	99	95	0	4
営業利益	-	▲13	▲0	5	▲2	▲2
経常利益	-	▲13	9	9	0	▲0
当期純利益	-	▲13	45	4	0	▲0
持分比率	-	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

【注】「クレスコ・アイディー」は2011年4月5日に設立しております。

## 3.1. 基本方針

顧客創造  
顧客創造

## 3.2. 重点施策

- ▶ **営業部門の拡充**  
営業専任者の増員、営業統括部の設置
- ▶ **グループ本部の設置**  
グループ戦略、営業活動・広報活動支援、コンプライアンス強化
- ▶ **擬似カンパニー制の強化**  
営業利益ベースでの業績評価、部門裁量の拡大
- ▶ **政策予算の確保**  
人材採用、開発支援、グループ活動強化等
- ▶ **モバイルへの取組み**  
スマートデバイス等、新メディアへの積極対応

## 3.3. 今後の事業展開、株主還元方針など①

1 当第1四半期(平成23年4月1日～平成23年6月30日)の経営環境は、当初東日本大震災の影響で、新規設備投資や消費に対する閉塞感が拭えないまま推移いたしました。後半は復興需要が顕在化し、景況感の弱含みはあるものの改善基調となってまいりました。これは国内のIT需要は、慎重ながらも積極的な姿勢に変化しつつあることを示しております。

2 当社企業グループは現在、子会社6社・関連会社2社の体制となっており、営業拠点も札幌・東京・大阪・博多・沖縄と全国規模に拡大しました。企業の「**メインITソリューション・パートナー**」としてグループ間の連携を強化し、顧客に密着した価値提供型のビジネスを展開しております。今後も当社企業グループ一丸となった「ワンストップ・ソリューション」の提供を通して、より需要が見込める顧客や産業分野に対する積極的なアプローチを行ってまいります。

## 3.3. 今後の事業展開、株主還元方針など②

3 IT投資そのものは、多大なコストと時間を要する「新規開発」は減少し、クラウドサービスの活用（「所有」から「利用」）がトレンドとなっておりますが、震災後のマーケットニーズには新たな変化がみられます。当社企業グループといたしましてはこの変化を追い風とすべく、2011年度は「**顧客創造**」をテーマに、新たなサービスモデルの構築と戦略的・網羅的な営業活動を展開してまいります。

4 株主還元方針といたしましては、何よりも業績に裏付けられた適正な利益配当に重点をおいており、特段の株主優待は行っておりません。なお、配当に関しましては、当社の経常利益を基に特別損益を零とした場合に算出される当期純利益の40%相当額を継続的に実現することを目指してまいります。

- ❖ 掲載内容については細心の注意を払っておりますが、掲載された情報の誤り等によって生じた損害等に関し、当社は一切責任を負うものではありません。
- ❖ また、本資料は投資判断のご参考となる情報の提供を目的としたもので、投資勧誘を目的としたものではありません。投資に関する決定は、利用者ご自身のご判断において行われるようお願い申し上げます。
- ❖ なお、本資料における将来予測に関する情報および業績見通し等の予想数値は、現時点で入手可能かつ合理的な情報による判断および仮定に基づき記述しております。
- ❖ 今後、リスクや不確定要素の変動および経済情勢等の変化により、予告なしで情報を変更したり、実際の業績や結果と大きく乖離するなど、本資料の内容とが異なる可能性もございます。予めご了承ください。